

別紙（容器）

供給設備の技術上の基準
(容器による貯蔵能力が 1,000kg 以上 3,000kg 未満のものに限る)

1 保安距離	①第1種保安距離(法定 16.97m・障壁設置 0m)実際距離〇〇m 保安物件の名称 〇〇小学校 ②第2種保安距離(法定 11.31m・障壁設置 0m)実際距離〇〇m 保安物件の名称 〇〇マンション
2 障壁	①障壁の構造 材料鉄筋コンクリート寸法(高さ)200cm(厚さ)15cm ②扉の構造 材料 鋼板 (厚さ) 0.4 cm ③扉の補強 等辺山形鋼(枠)〇〇mm×〇〇mm(内)〇〇mm×〇〇mm 間隔(縦)〇〇cm(横)〇〇cm
3 火気取扱施設との距離	①火気等の種類 屋外給湯器等 火気等との距離 3.2m ②流動防止措置 障壁(材料)鉄筋コンクリート等 高さ 2.0m
4 滞留防止	①貯蔵設備面積 5.0 m² 法定換気口面積 1,500 cm² ②実際の換気口面積 3,200 cm²
5 さく、へい等の設置	さく、へい等の種類 鋼板製容器収納庫等
6 警戒標	①掲示位置 収納庫側面等 ②表示内容 LP ガス貯蔵設備、燃、火気厳禁等
7 消火設備	①粉末消火器 ABC20 型 2本等 ②その他
8 軽量の屋根等	①屋根の場合 その材料 繊維強化セメント板等 ②遮へい板の場合 その材料 薄鉄板等
9 転倒防止等の措置	収納庫に容器を設置、独立支柱により固定等
10 腐食防止措置	錆止め塗装等